



おかむら
岡村

たけし
武

しせい
至誠会

学校給食用牛乳の購入方法の正常化を

問 学校給食用牛乳については、津市が直接調達をせずに、三重県が価格を決定し、その価格に基づいて、三重県学校給食会から購入している。

補助金欲しさに、このような方法を採用しているのではないのか。このような妙なやり方ではなく、パンや米と同じように、直接購入すべきと考える。

なぜ、正常な購入方法にできないのか。

答 現状の購入方法による場合に交付される補助金は、保護者の負担を軽減するために重要なものと考えている。

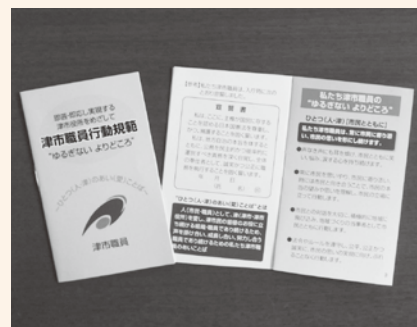
供給業者が整っている四日市市などでは、市独自で見積もりを取り、決定している場合もある。

津市では、1日に2万2000本の牛乳が必要である。直接調達する方法に改める場合に、その供給が確実にできるかどうか、また、地産地消の観点や、購入単価が実際にどうなるかといった点を総合的に勘案して、津市においても直接購入することについて、前向きにできる方法を検討していきたい。



●その他の質疑・質問●

- 議案第124号 平成28年度津市一般会計補正予算（第4号）
- 教育から
 - ニートについて
 - 子どもの薬害について
- 津市職員行動規範について
- ふるさと津かがやき寄附における感謝品の充実について
- 三重短期大学教員の教育研究活動等に関する調査報告書に係る見解について など



▲職員の不祥事に対しては職員行動規範以前の教育が必要



いとやす
伊藤康雄

しんわ
津和会

津市産農産物のPRの取り組みは

問 津市では、水稲以外にいろいろな作物が生産されているが、津市の特産品として知られていないのが現状である。例えば、芸濃地域の「ずいき」は、関西では有名な食材になっている。それ以外にも数多くの生産物があるが、産地として知られていない。

現在、津市産農産物のPRについては、どのような取り組みを行っているのか。

答 津市産の農林水産物のうち、「ずいき」等の13品目を津ブランド化推進品目として選定し、「津ぶっこ13品」として情報発信を行っている。

例えば、「津ぶっこ13品」を掲載したパンフレットを公共施設や農産物直売所、観光施設等で配布し、市内外へのPRを図るとともに、道の駅津かわげに大型案内看板を設置し、来場者へのPRに努めている。また、広報津の毎月16日号の裏表紙に生産者を順次掲載し、市民に「津ぶっこ13品」が浸透するよう努めている。さらに、津市産農林水産物のPRに向けたプロモーションビデオの作成やホームページの構築を進めており、これらを活用した更なるPRを展開していく。

●その他の質疑・質問●

- 議案第124号 平成28年度津市一般会計補正予算（第4号）（仮称）津市ビジネスサポートセンター設置事業について
- 小中学校の普通教室へのエアコン設置について
- 改正公職選挙法成立後の参議院議員選挙について



▲芸濃地域で収穫された「ずいき」